

**[成果情報名]秋田県版シャインマスカット用カラーチャートによる収穫適期の判定**

**[要約]**ブドウ「シャインマスカット」に青色袋を被袋することで、果房中央陰向面の果皮色がカラーチャート指数4（黄緑色）に達すると、糖度18%程度の果実が収穫できる。

**[キーワード]**「シャインマスカット」、カラーチャート、指数、収穫適期、青色袋

**[担当]**秋田県果樹試験場・生産技術部、品種開発部

**[代表連絡先]**電話 0182-25-4224

**[区分]**東北農業・果樹

**[分類]**普及成果情報

**[背景・ねらい]**

秋田県では「シャインマスカット」の生産拡大に伴い、市場ニーズの高い黄緑色で、果房重500g以上、糖度18%以上の果房の収穫を目標としている。これらの目標にあった収穫適期を判断するために秋田県に合ったカラーチャートを作成し、その利用方法を検討する。

**[成果の内容・特徴]**

1. 未熟期時から過熟期時までの果房を基に、「シャインマスカット」の果皮色を指数1～6までの6段階に区分した秋田県版カラーチャートを作成した（図1）。
2. 収穫適期は陰向面中央部の果皮色で判断する。果房陰向面がカラーチャート指数4に達するとおおむね糖度18%程度の果実が得られる（図2）。
3. 陰向面中央部の果皮色がカラーチャート指数4で収穫した果房のうち、700g以下の果房（n=20）では9割の果房が糖度18%に達したが、700gを超える果房（n=21）では1割のみである（図3）。700gを超える果房では収穫を遅らせても糖度18%に達しない果実が多い。
4. 収穫は陰向面のカラーチャート指数が4に達した果房から順に行う。

**[普及のための参考情報]**

1. 普及対象：ブドウ生産農家
2. 普及予定地域・普及予定面積・普及台数等：秋田県内生産農家
3. その他
  - (1) チャートの使用時は直射光を避け、日陰を作って判断する。夕暮れ時は、正確な果皮色の判断ができないので避ける。
  - (2) 調査は青色袋（小林製袋社製グレープカラー青）で栽培した果実での結果であり、果実袋が異なるとカラーチャートと色調が異なるため上記の判定基準を適用できない。
  - (3) 糖度18%となる果実を得るためには、果房重700gを超えないように房作りを行う。
  - (4) 過熟果房（チャート指数5以上の果房）には、品種特性であるマスカット香が少ない傾向がある。
  - (5) 目標収量1500kg/10a。
  - (6) 収穫時期9月下旬～10月下旬。

[具体的データ]



図1 秋田県版シャインマスカット用カラーチャート

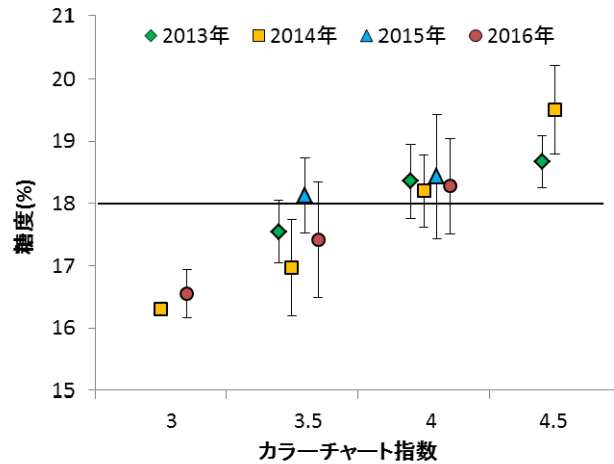


図2 果房の糖度とカラーチャート指数の関係（陰向面）

果房重は500~700g。

カラーチャート指数4の調査果房数 2013年(n=5)、  
2014年(n=27)、2015年(n=12)、2016年(n=10)。

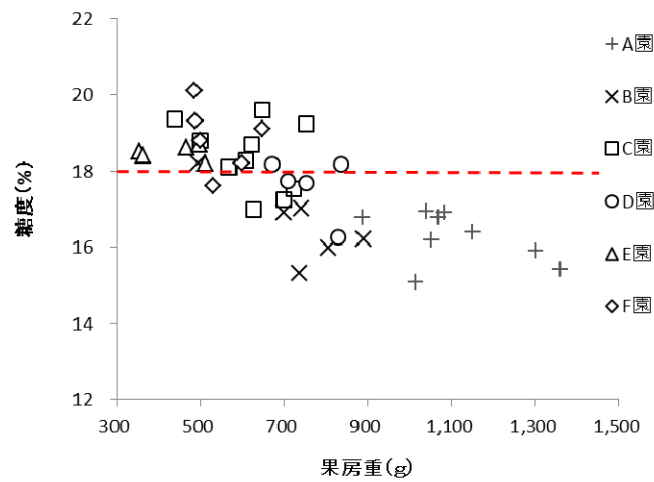


図3 現地6園地におけるカラーチャート指数4で収穫した果実の果房重と糖度(2013年)

(中澤みどり)

[その他]

研究課題名：新品種「シャインマスカット」の一文字短梢整枝法による大粒無核栽培法の確立

予算区分：県単

研究期間：2011年～2016年

研究担当者：中澤みどり、大隅専一、船山瑞樹、原加寿子、田口茂春

発表論文等：なし